

授業コード	D7049ZZ		
科目名	スポーツ競技力入門		
担当者	須佐 徹太郎		
単位数	2	レベル	
開講期間	2015年度 前期	開講曜日	金曜3限
開講キャンパス	本キャンパス		
授業の到達目標およびテーマ	国内外のトップアスリートの取り組みを知る。 競技力向上のための政策と問題点を知る。競技力向上とITの活用法を知る。		
授業の概要	1. 国内外のトップアスリートがどのような取り組みをしてレベルアップをはかり、競技成績をあげてきたかを様々な事例を取り上げて概説する。 2. 国家レベルや競技団体レベルで、政策としてトップレベルの競技レベルを上げるために、どんな手を打ってきたか、政策的側面や競技力向上のシステムを把握してみる。		
授業計画	第1回 競技レベル向上の実践からスポーツ科学・マネジメントを学ぶ意義を探る！ 第2回 ITの活用(1) 第3回 ITの活用(2) 第4回 IT活用の意義(3) 第5回 IT活用の意義(4) 第6回 生活改善の取り組み 栄養学導入・食事改善でのレベルアップ 第7回 現代サッカーのトレンドとスペイン&バルサの質的飛躍(1) 第8回 現代サッカーのトレンドとスペイン&バルサの質的飛躍(2) 第9回 イメージトレーニングによる競技力向上(1) 第10回 イメージトレーニングによる競技力向上(2) 第11回 日本サッカー低迷からの脱出(1) 第12回 日本サッカー低迷からの脱出(2) 第13回 逆境を乗り越えるスキージャンプ選手 第14回 まとめ(1) 第15回 まとめ(2)		
授業外学習(予習・復習)	授業中指示する。		
授業の方法と学習上の留意点	・毎回レポート提出(内容と回数をチェックし、質問には次の講義でこたえる)。		
成績評価基準	※定期試験を実施するが、毎回のレポート・出席状況を含めて総合評価する。ただし、出席が10回未満は採点の対象としない。 ※授業配布資料および講義中に見せる映像を見ながら、講義中に考えてレポートするという講義形式をとるので、出席しなければ評価の対象にしない。		
教科書	特になし		
参考文献	小山裕史『奇跡のトレーニング』(講談社) 小山裕史『初動負荷理論による野球トレーニング革命』(ベースボールマガジン社)同『奇跡のトレーニング』(講談社)		
関連して受講することが望ましい科目	スポーツ科学論a.b、スポーツトレーニングa.b(ウエイトトレーニング)スポーツ技術論(2年次以降)		
シラバス分野	学科科目		